

図書館インフォメーション

わくわくおはなし会

5月8日（土）、図書館1階視聴覚室において、図書館ボランティアぐりぐらの会によるわくわくおはなし会を開催しました。てあそび、読み聞かせ、エプロンシアター、ペープサート、工作など、子どもたちはいきいきとした表情でおはなし会に参加し、充実したひとときをすごしました。



富沢図書館・おすすめ本

富沢図書館では、1階入り口付近の新刊コーナーの他、館内の各展示スペースにおいておすすめ本をご紹介します。1階くつろぎコーナーでは人気の歴史小説、児童書コーナーでは季節の絵本、2階学習室では、南部図書館所蔵の話題本を定期的に入れ替え、ご紹介しております。また、南部図書館にはない雑誌や話題本なども所蔵しております。現在の富沢図書館の利用も残りわずかですので、普段あまり利用したことがない方も、ぜひご来館ください。（南部図書館でも、富沢図書館所蔵の小説・エッセイ・コミックなどをご紹介します。）



1階、くつろぎコーナー



1階、児童書コーナー



2階、学習室

図書館の予定

- ・わくわくおはなし会（ひよこの会）
7月3日（土）
午後1時30分～2時30分
- ・乳幼児リトミック教室
7月7日（水）
午前10時30分～11時30分
講師：佐野貴子先生／長洞まゆ先生
- ・乳幼児おはなし会 のんたんのへや
7月14日（水）・21日（水）・28日（水）
午前10時30分～11時30分
- ・夏休み映画会
7月24日（土）・31日（土）
午後3時～4時30分

7月

※各種催し物は、新型コロナウイルス感染予防のため中止になる場合があります。なお、中止の場合はFM告知放送でお知らせします。

町立図書館では、年代別のおすすめ本の紹介などの情報を図書館だよりで配信しています。図書館だよりのバックナンバーは右のQRコードを読み取るとご覧いただけます。



富沢図書館の移転について

富沢図書館の移転に伴い、現在、旧富河中学校校舎の改修工事を行っています。また、棚や書籍の移転作業のため、現在の富沢図書館は7月末頃で一時的閉館となります。閉館の詳細な日程は、校舎の改修工事の進捗状況によって多少前後しますので、決まり次第、広報等で町民の皆さまへお知らせいたします。

なお、移転後の新富沢図書館の開館予定は、11月初め頃になる予定です。おおむね3か月程度は、富沢図書館が利用出来なくなりますので、その間は南部図書館をご利用ください。利用者の方々には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

現富沢図書館の利用も残りあとわずかではありますが、最後まで変わらぬご高配を賜りますようお願い申し上げます。

（イベント・講座のお問合せは 62-9292） 南部図書館 事務室までお願いします。

今月の新刊情報

「貴方のために綴る18の物語」

岡崎琢磨 著

1日1話ただ読むだけ。奇妙な仕事を引き受けた美織は毎日届けられる物語に次第に追い詰められていく。(ミステリー小説)



「なぜ秀吉は」

門井慶喜 著

朝鮮出兵は歴史的快挙か天下の愚策か。天下人・秀吉の最期の仕事と人間ドラマを描く。(歴史小説)

「心を養う」

北尾吉孝 著

世のため人のためになる活動をしていけば、やがて自らの利益にも繋がる。天命を知り志を立てること人間の進むべき道などを綴る。



話題本がいっぱいだよ！



「じいじ、最期まで見るからね」

高橋里華 著

介護16年目の著者が病気の家族との向き合い方認知症の症状と対応、その時の気持ちなど家族との向き合い方を伝える。

「星落ちて、なお」

澤田瞳子 著

激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。「孤鷹の天」中山義秀文学賞、「満つる月の如し」時代小説大賞・新田次郎文学賞など多くの賞を受賞。

「己丑の大火」

佐伯泰英 著

文政12年、江戸を大火が襲った。日本橋を焼き落とした炎が照降町の梅の木に迫ったその時、佳乃は決死の行動に出る。(照降町四季シリーズ2)



「ありのまま生きる」

雑草が教えてくれたいのちがよるこぶ生き方かわしまようこ著
雑草とは、生きたいところで生きているたくましくて美しい生きもの。草の案内人によるユニークで心に響く生き方指南書。



「子どもの長所を伸ばす5つの習慣」

石田勝紀 著
長所を伸ばすことで子どもの学力や才能はぐんぐん伸びていく。これまで気づかなかつた子どもの長所を伸ばす5つの習慣を提案する。



「たいせつな家族を感染症から守る本」

生田和良 著
長年感染症に携わってきた研究者が、病原体から身をかわす知恵を伝授。



「現代中国の秘密結社」

安田峰俊 著
中国が激動するとき必ず秘密結社が現れる。中国の壊し方と天下の取り方に迫りかかれらの奇怪な興亡史を鮮やかに描き出す。



「幸せな人生のつくり方」

坂東真理子 著
コロナ禍があっても私たちはどう生きれば幸せになれるのか。今を大事に今を充実させるためのアドバイスを紹介する。

図書館郷土資料室より話題本の紹介！

武田信玄の足跡を記した「甲陽軍艦」。その信憑性を疑う歴史学界の論調に異を唱えてきた著者が「武田幕府構想」「信長の信玄籠絡計画」など「甲陽軍艦」に記された事象を取り上げ戦国最強武将の「実像」を明らかにします。

「武田信玄500年目の真実」 井沢元彦 著

県内の企画展にもなかなか足を運ぶことができない昨今、せめて図録を見ながら知識を高めたい方におすすめの一冊を紹介いたします。こちらは、山梨県立博物館で開催した武田信玄生誕500年記念図録です。

現在も様々な形で語り継がれる武田信玄(1521~73)甲斐国から信濃・上野・駿河などに領国を拡大して全国有数の戦国大名となり川中島の戦いなどの合戦や信玄堤に代表される政策など後世まで大きな影響を与えました。内容は、武田信玄の53年の生涯について年代順に関連資料を紹介してその業績を振り返るとともに、信玄が生きた戦国時代の社会、信玄と争った戦国大名、信玄を支えた一族と家臣団等について総合的に紹介しています。ぜひご覧ください。

生誕500年「武田信玄の生涯」

